

# 人・農地プラン アンケート集計

## 古寺地区

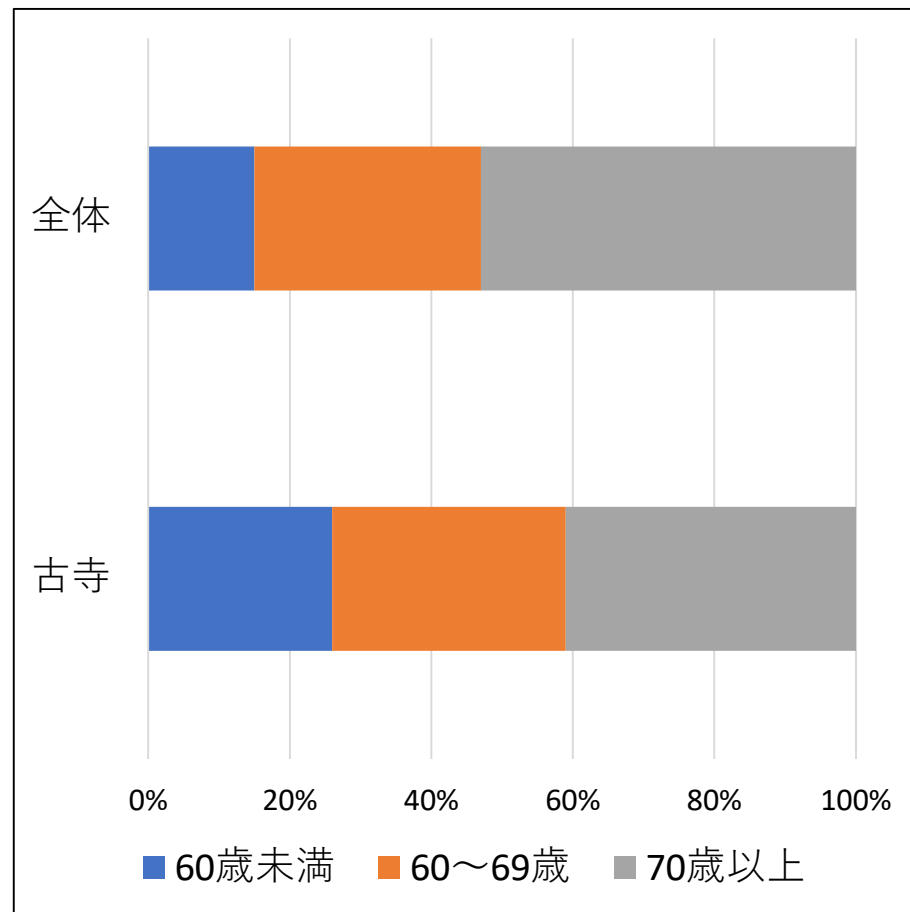
広陵町役場 地域振興課

# 年齢構成について

町全体における各年齢の構成比

60歳未満 15%  
60～69歳 32%  
70歳以上 53%

古寺地区は全体よりも70歳未満の農業者の割合が高く、6割近い割合となっている。

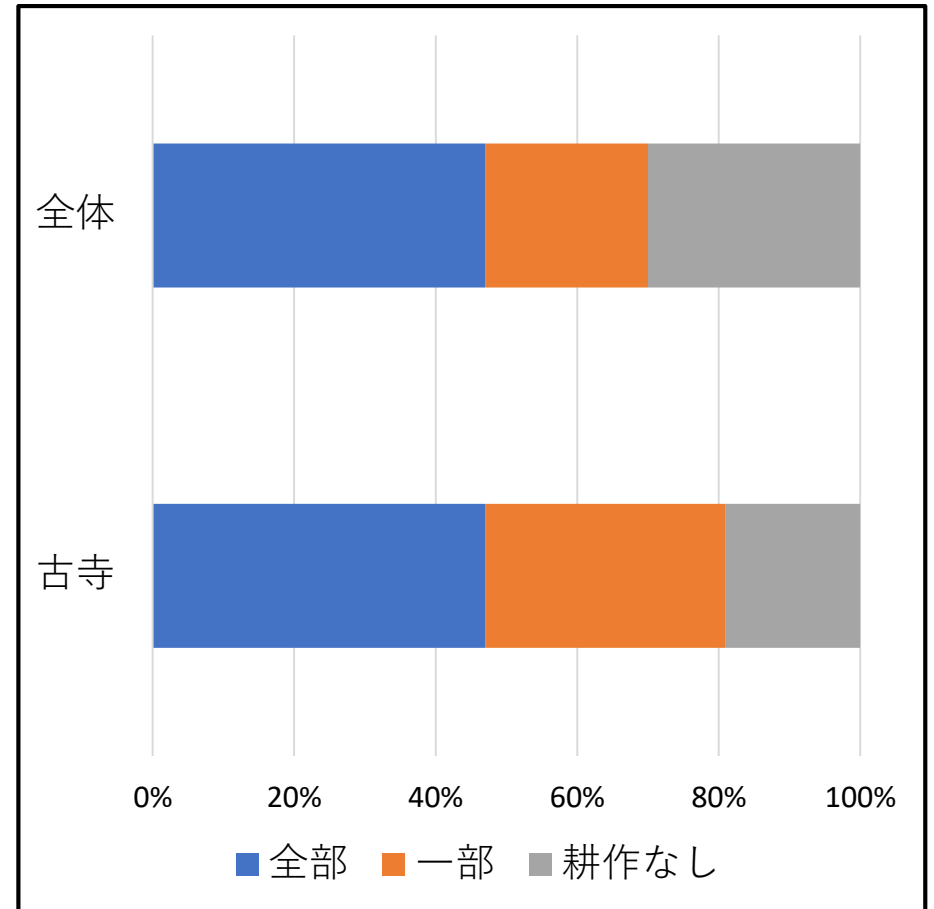


# 耕作状況について

## 町全体の耕作状況の構成比

全部自作している 47%  
一部自作している 23%  
耕作していない 30%

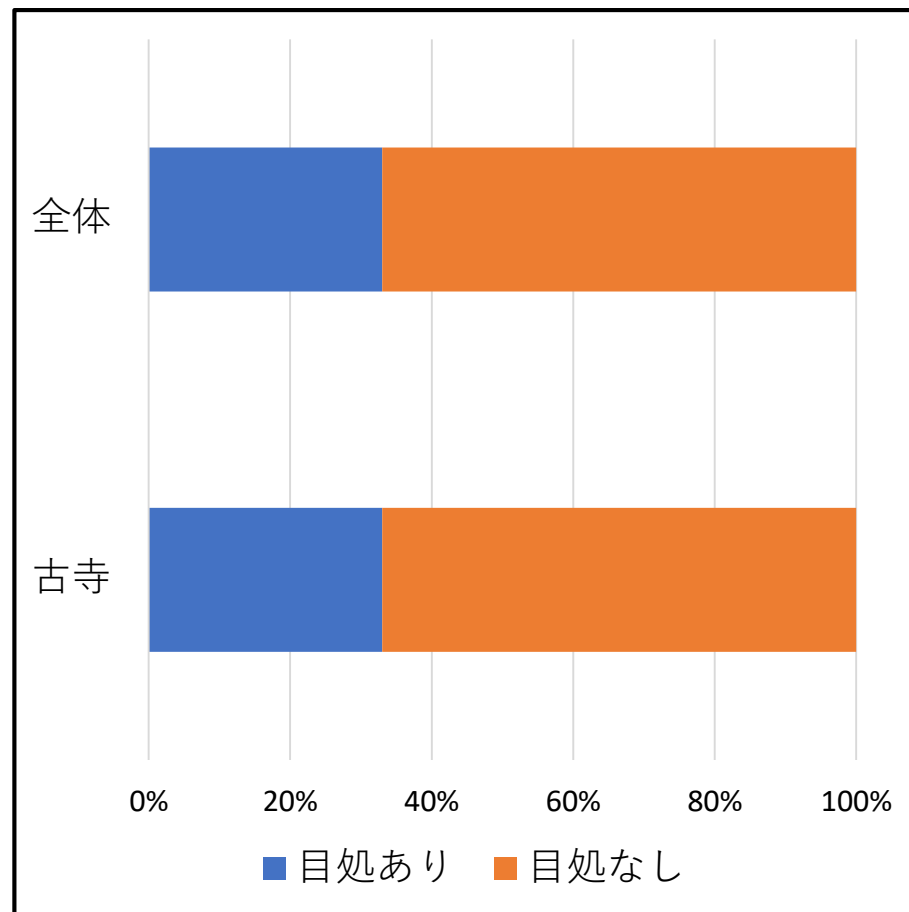
古寺地区は、一部自作を含めた自作している方の割合が8割を超えている。



# 後継者について

町全体における後継者の状況と  
後継者の目処あり 33%  
後継者の目処なし 67%

古寺地区における後継者の状況は、町  
全体と同じとなっている。

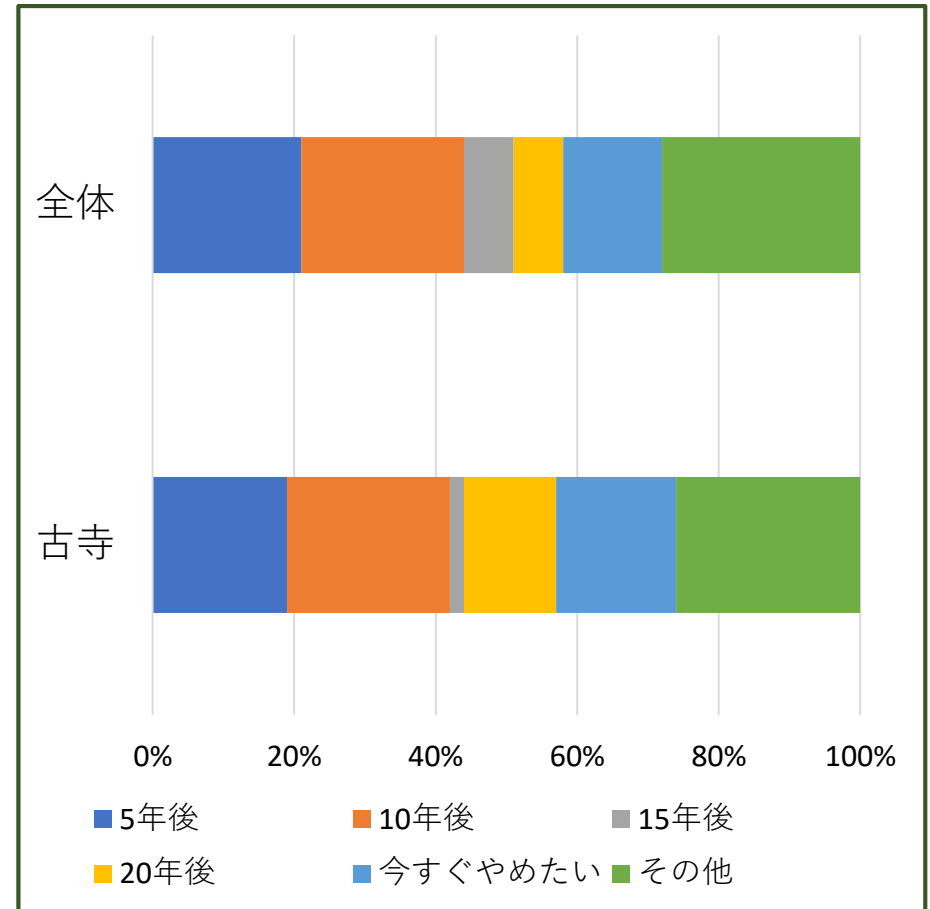


# 営農継続期間について

## 町全体における営農継続期間の状況

5年後まで継続	21%
10年後まで継続	23%
15年後まで継続	7%
20年後まで継続	7%
今すぐやめたい	14%
その他	28%

古寺地区では、「今すぐやめたい」も含めた10年以内に営農終了を考えている方の割合が6割近くいるが、20年後まで営農を継続する意向の方も1割程度いる。

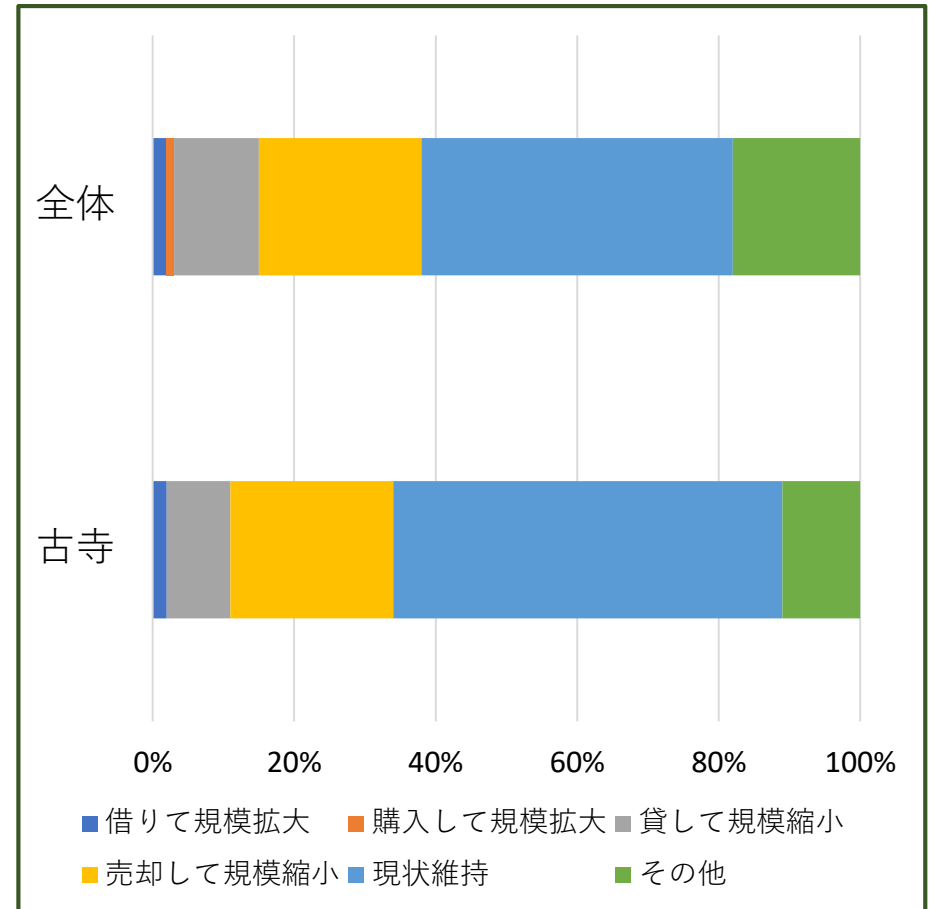


# 将来的な営農規模について

## 町全体における営農規模の状況

借りて規模拡大	2%
購入して規模拡大	1%
貸して規模縮小	12%
売却して規模縮小	23%
現状維持	44%
その他	18%

古寺地区では、現状維持の意向を持つ方の割合は半数を超えており、全体と比較して規模縮小を考えている方の割合が低くなっている。

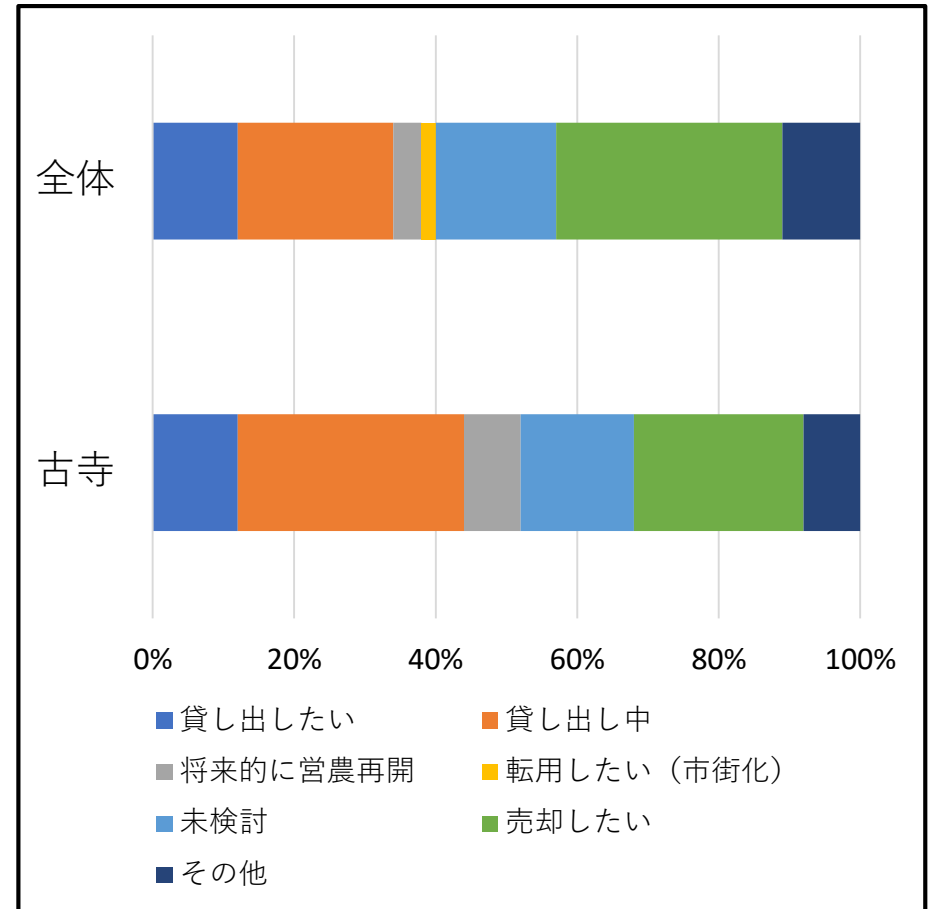


# 耕作していない農地について

## 町全体における耕作していない農地の意向

貸し出したい	12%
貸し出し中	23%
将来的に営農再開	4%
転用したい（市街化区域）	2%
未検討	16%
売却したい	32%
その他	11%

古寺地区では、貸し出し中の割合が高くなっている一方で、売却したいの割合が低くなっている。



# 集落における農業の発展について

## 集落の農業の発展において必要なものの状況

農地の集約	30%
鳥獣害対策の実施	4%
農地等の基盤整備	15%
高収益作物の作付	6%
新規就農者の育成	4%
集落営農による外部人材雇用	13%
その他	28%

古寺地区においても、農地の集約が必要であると考えている方の割合が多く、また、集落営農による外部人材雇用が必要と考えている方の割合も高くなっている。

